

はねっと 11

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

自分で得た学びを伝え、 日本人と外国人の架け橋に

せんだい外国人防災リーダー

ショウ ヨウ
肖陽さん(25)

「災害の多い日本で安心して暮らすための備えを、地震や台風などに馴染みの薄い外国人に伝えたい」と話すのは、中国出身の留学生、肖陽さんです。「せんだい外国人防災リーダー」(以下、防災リーダー)として、地域の避難所や過去に被災した地域を見学したり、ハザードマップや自らが避難するための行動計画について学んだりしています。どれもあまり災害を経験してこなかった肖陽さんにとって、初めて知ることばかり。学んだことは、身近な外国人の友人に伝え、SNSでも発信しています。災害時、言葉や生活文化の異なる外国人は、正しい情報を得ることや適切な避難行動が分からず、不安な状況に陥りがち。「お互いの違いを理解していないことから生じる溝を減らす手伝いができれば」と、当事者としての視点を生かし、消防・救急隊員向け「外国人対応訓練」にも協力。分かりやすい日本語やコミュニケーション方法を伝えています。

日本の文化が好きで、より見聞を広めたいと3年前に来日。活動に参加するようになったきっかけは、来日したばかりの頃、初めて



▲ 防災リーダーの研修で意見を発表している様子



▲ 中国の大学時代、茶道クラブに所属していた肖陽さん



地震を体験したことでした。震度3の揺れにパニックになるほどの恐怖を感じ、気づいたのは「災害時どうしたらいいのか」「どのような危険があるのか」を知らないということ。防災リーダーとして学ぶようになってからは、災害を正しく恐れられるようになりました。さらに「多くの災害を経験してきた日本ならではの備えや向き合い方からは、日本の歴史や暮らしも学ぶことができる」と目を輝かせます。

国籍、言葉、文化の違いを超えた防災活動を通じて、様々な角度から日本への理解を深め、日本人と外国人をつないでいきます。

せんだい外国人防災リーダー

地域防災の担い手として、地域の人々と共に、仙台市の防災活動について学ぶ、外国人住民です。災害時には町内会などと連携して外国人への通訳、情報発信といったサポートを行います。公益財団法人仙台観光国際協会(SenTIA)が2020年から育成を進め、現在15カ国出身、22人が活動中です。

【お問合せ】

公益財団法人仙台観光国際協会(SenTIA)国際化事業部
TEL:022-268-6260





市民活動突撃レポート！

楽しみながら日本語習得しませんか？

多読カフェ研究会 代表 葛西厚子さん 副代表 千葉礼子さん

『多読～にほんごの本をよんでみよう』をします。と、ツイッターで呼びかけているのは、多読カフェ研究会(以下、多読カフェ)です。毎月第3土曜日、青葉区中央市民センターで外国人の大人を対象に、「多読」を通じて日本語を学ぶ場を提供しています。多読とは、「挿絵で文脈を判断しながら、本をたくさん読む」という語学の学習法。ルールは、「やさしいレベルから読む」「辞書を使わない」「分からないところは飛ばして読む」「進まなくなったら他の本を読む」です。メンバーの千葉礼さんは、「子どもの時って、言葉の意味や文法にとらわれずに読めるところだけ読んで本を楽しんでいたでしょう?たくさん日本語に触れて、いつの間にか読めるようになるというのが多読の良いところ」と話します。参加者は一冊読み終えると、読書カードに読んだ本の感想を記入。参加当初から現在に至るまでの日本語習得の記録にしています。

2016年、日本語講座で講師をしていた3人で団体を設立。現在は4人で活動しています。代表の葛西厚さんは、「なかなか日本語が

「ここに来るのは、じっくり日本語に触れるため」と話す、チリ人の参加者



▲代表の葛西さん(写真左)、メンバーの千葉さん(写真右)。手に持っているのは多読の教材。読み切った達成感を得るため、薄い冊子が多い。

上達しない人が、どうしたら上達できるかを考えた時に会ったのが多読でした。日本語が上達して喜ぶ姿が見たいんですね」と話します。

葛西さんは、「今後は多読カフェの広報に力を入れて、日本語を習得するのが難しいと思っている人たちに、自分たちの活動の情報を届けたい」と、意欲を燃やします。

多読カフェ研究会

Twitter ▶



活動を始める一歩を応援します。

生活に困っている人へ食糧を配達するボランティア募集中

フードバンク仙台では、生活に困っている個人へ無償で食糧を配達しています。また、支援機関と連携し、状況を改善するための情報提供、社会保障の申請同行も行っています。現在は、食糧を配達するボランティアを募集中。賛同した人は一緒に活動してみませんか？

配達時間:月・木・金の12:00頃～17:00頃、活動頻度や日時等は要相談

活動内容:フードバンク仙台の事務所から、食糧を積んで要支援者宅へ配達

対象:運転免許があり、私有車で配達可能な人

待遇:1キロ20円のガソリン代と、駐車代など活動に関わる費用の支給あり

ボランティア保険:加入必須(保険費用は支給)

<主催・連絡先>フードバンク仙台

仙台市青葉区五橋2-6-16第2ショーケービル101号室(みんなのBASE内) / TEL:080-7331-6380

連絡可能な日時:月・木・金 10:00～16:00(祝日休み) / E-Mail: foodbanksendai@gmail.com



Facebook ▲



HP ▲

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。

「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 11月10日(水)、24日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者:特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年11月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

